

# 大和市文化芸術振興基本計画[第2期] 平成27年度実績報告

資料 1

## 施策目標1 市民の暮らしと文化芸術とのつながりを深める

具体的方策	1-1 芸術性の高い文化芸術を鑑賞できる機会の創出 市民が、喜びや感動を味わうとともに、芸術的感性を磨き、創造意欲を高めていくことができるよう、音楽、演劇、舞踊、美術、映像など幅広いジャンルの芸術作品を鑑賞できる機会をつくります。
	1-2 文化芸術活動への参加を促す取り組みの推進 芸術作品の理解を深めるためのレクチャーコンサートや講演会、演奏・演技・造形などを実際に体験できるワークショップを開催するなど、市民の文化芸術に対する関心や創造意欲を具体的な活動につなげていくための取り組みを進めます。
	1-3 文化芸術に日常的に触れることのできる取り組みの推進 文化芸術に興味があっても、触れる機会が持てない方、遠方への移動が困難な方に対し、身近な場所で日常的に文化芸術に親しむことのできる機会を提供します。また、芸術文化ホールがすべての人にとって利用しやすいものとなるよう、ユニバーサルデザイン視点を取り入れた取り組みを進めます。
	1-4 市民の主体的な文化芸術活動への支援 市民の主体的な文化芸術活動を促進するため、相談、創造、発表の機会と場を提供するとともに、情報の発信などの支援を行います。
	1-5 文化芸術の力を生活、地域に活かす取り組みの推進 福祉の分野における癒しや生きがいの創出、治療のツールとしての活用、商店街の活性化への貢献など、他の関係機関との連携を図りながら、文化芸術の持つ力を生活分野の課題に活かす取り組みを進めます。
	1-6 文化芸術振興のための財源確保と基金への賛同、協力の促進 文化芸術の振興に関する財源を継続的かつ安定的に確保するため、国、県、公的機関による助成金を積極的に活用するとともに、寄附制度への協力という形で多くの市民、企業に支援いただけるよう働きかけを進めます。

### ■基本計画で定めているモニタリング項目と目標及び実績

#### 【項目1】

モニタリング項目 :計算式等	過去1年間において1回以上文化芸術の鑑賞を行った市民の割合 :文化・芸術に関する市民アンケート調査で測定	※H27年 達成状況	—
目標値(H30年)・ 目標値の設定理由	80.0% H25年アンケート調査において、文化芸術を鑑賞していない市民は若い世代に多いことが分かったため、芸術文化ホールなどで子ども、親子、若者などを対象とした鑑賞事業を展開し、10人中8人が文化芸術を鑑賞している状態にすることを目標としました。		
実績値	H20 61.0% H21 — H22 — H23 — H24 — H25 74.0% H26 — H27 — H28 測定予定 H29 — H30 測定予定		

#### 【項目2】

モニタリング項目 :計算式等	自ら文化芸術活動を行っている市民の割合 :文化・芸術に関する市民アンケート調査で測定	※H27年 達成状況	—
目標値(H30年)・ 目標値の設定理由	40.0% H25年アンケート調査において、文化芸術活動を行っていない市民は若い世代に多いことが分かったため、この年代の発表の機会を増やす取り組みを進め、H25年の数値から毎年1%ずつ伸ばすことを目標としました。		
実績値	H20 24.0% H21 — H22 — H23 — H24 — H25 35.0% H26 — H27 — H28 測定予定 H29 — H30 測定予定		

#### 【項目3】

モニタリング項目 :計算式等	文化芸術活動が盛んに行われていると思う市民の割合 :総合計画に関する市民意識調査で測定	※H27年 達成状況	—
目標値(H30年)・ 目標値の設定理由	56.4% 文化芸術振興のための取り組みを推進し、H23年の数値から毎年2%ずつ増加させることを目標としました。		
実績値	H20 36.6% H21 — H22 — H23 42.4% H24 — H25 39.5% H26 — H27 — H28 測定予定 H29 — H30 —		

### ■施策目標を達成するための主な取組と実績

No.	取組名【所管課名】・ 概要	実績値					
		名称	H23	H24	H25	H26	H27
1	公演事業の開催 【スポーツ・よか・みどり財団】 子ども、高齢者、障がいを持つ方など、すべての市民に良質な文化芸術の鑑賞機会を提供する。	公演数(入場者数)	1公演 (429人)	1公演 (300人)	1公演 (400人)	1公演 (577人)	1公演 (427人)
2	一般公募展[書・絵画・写真]の開催 【文化振興課】 市民からの作品を募集、展示し、優れた作品を表彰する。	出品作品数 (総来場者数)	207点 (1,220人)	231点 (1,484人)	241点 (1,249人)	259点 (1,322人)	234点 (1,390人)
3	一般公募展[短歌・俳句・川柳]の開催 【文化振興課】 市民からの作品を募集、展示し、優れた作品を表彰する。	出品作品数 (総来場者数)	242点 (591人)	248点 (619人)	174点 (816人)	152点 (933人)	157点 (752人)
4	コミュニティ音楽館の開催 【文化振興課】 市民にとって身近な施設であるコミュニティセンターを会場に、ミニコンサートを開催する。	1館平均の来場者数 (総来場者数)	74.7人 (1,046人)	84.3人 (1,180人)	78.8人 (1,182人)	85.6人 (1,198人)	85.5人 (1,282人)
5	まちかど落語の開催【文化振興課】 コミュニティセンターを会場に、落語家 初音家左橋氏による高座を開催する。	1館平均の来場者数 (総来場者数)	60.3人 (241人)	58.0人 (232人)	46.7人 (140人)	64.0人 (256人)	51.3人 (205人)
6	イラストを使った魅力的な生活空間の創出【文化振興課】 YAMATOイラストレーションデザインコンペ入賞者等を活用し、幅広い世代の市民が文化芸術を身近に感じ、楽しむことのできる仕掛けを展開する。	屋外空間にコンペ入賞者等の作品を活用した件数	—	0件	0件	3件	1件
7	生涯学習振興補助金の交付 【文化振興課】 市民及び団体から提案された文化、芸術などの事業について、選考会議で審査を行い、補助金を交付する。	補助金交付件数	1件	1件	2件	2件	1件
8	文化芸術事業の運営支援 【文化振興課・生涯学習センター】 市民で構成する実行委員会に対し、事業運営等に関する助言や会場使用の支援などを行う。	実行委員会方式による事業の支援件数(子ども対象イベント除く)	4件	4件	4件	4件	4件
9	後援名義の付与【文化振興課】 市民が主体的に実施する事業に対して、後援名義を付与する。	市の後援名義使用申請件数	27件	23件	22件	24件	21件
10	文化芸術振興のための基金の管理 【文化振興課】 市民等からの寄附金を基金として積み立て、その利子及び原資を適正に管理する。	文化会館建設基金、生涯学習振興基金、文化振興基金に対する寄附金の受入れ件数の合計	2件	3件	2件	2件	4件

### ■主な課題と対応状況

課題	対応状況	進捗度合
具体的方策1-1、1-2への対応が十分でないことから、今後は、幅広い世代が文化芸術を日常生活の一部として親しむことができるよう、良質な文化芸術を鑑賞、体験できる機会の充実を図る必要があります。あわせて、文化芸術に興味があっても、触れる機会が持てない方、文化施設に赴くことが困難な方に対し、文化芸術を届ける方策について検討を行う必要があります。(H26)	文化芸術の鑑賞、体験事業については、今後、芸術文化ホールを中心に実施する予定です。また、芸術文化ホールには、車いす専用スペースや難聴者を支援する設備を設けるなど、ユニバーサルデザインの視点から整備を行いました。このほか、コミュニティ音楽館を車いすのまま鑑賞できるように受け入れ体制を整えました。	A
芸術文化ホールの開館により、市民が行う文化芸術事業に対する支援(施設の優先予約、利用料の減免等)の増加が見込まれることから、手続きにおける透明性を確保していくためのルールを定め、適正な運用を図る必要があります。(H26)	市民が行う文化芸術事業に対する施設の優先予約、利用料の減免等について、ルールを作成中です。	B
さくら文芸祭一般公募展の出品数は減少傾向にあることから、これに対する方策を検討する必要があります。(H27)		

#### ※進捗度合

A:既に対応を行っている B:具体的な検討に着手している C:検討内容が具体的になっていない

# 大和市文化芸術振興基本計画[第2期] 平成27年度実績報告

## 施策目標2 地域の文化を大切に守り、次代につなぐ

具体的方策	<b>2-1 歴史的資源の保存、継承</b> 市内に存在する歴史的資源を市民の貴重な財産として後世に継承していくため、建造物や工芸品、歴史資料などの文化財の調査、修復、保存を行うとともに、開発行為などに際して埋蔵文化財を調査し、記録を保存します。
	<b>2-2 地域文化を知り、学ぶ機会の創出</b> 大和の地域文化への理解を深めるため、つる舞の里歴史資料館をはじめとする歴史施設だけでなく、学校、図書館などにおいて、これらを知り、学ぶことのできる機会をつくります。また、地域の生活に根ざして発展してきた祭り、年中行事などを伝えていく取り組みを進めます。
	<b>2-3 歴史的、文化的景観の発掘、発信</b> 映画やTV、CMなどの撮影ロケーション地としてのプロモーション、撮影支援を行うフィルムコミッション事業等を通じて、歴史が感じられる街並みや文化的な景観などの掘り起こし、再発見を図ります。

### ■基本計画で定めているモニタリング項目と目標及び実績

#### 【項目1】

モニタリング項目 :計算式等	大和市の歴史や文化は、しっかりと継承されていると思う市民の割合 :総合計画に関する市民意識調査で測定	※H27年 達成状況	—
目標値(H30年)・ 目標値の設定理由	42.9% 文化財に対する関心を高める取り組みを進め、H23年の数値から毎年0.2%(約500人)ずつの増加を目標としました。		
実績値	H20 H21 H22 H23 H24 H25 H26 H27 H28 H29 H30		
	35.8% — — 41.5% — 39.2% — — 測定予定 - -		

#### 【項目2】

モニタリング項目 :計算式等	歴史文化施設の利用者数 :郷土民家園+つる舞の里歴史資料館+下鶴間ふるさと館利用者(入園者・入館者)数	※H27年 達成状況	84.5%
目標値(H30年)・ 目標値の設定理由	51,300人 郷土民家園、つる舞の里歴史資料館、下鶴間ふるさと館の入園・入館者数をH24年を基準にして前年度より1%増やすことを目標としました。		
実績値	H20 H21 H22 H23 H24 H25 H26 H27 H28 H29 H30		
	37,719人 39,153人 41,452人 40,754人 48,339人 41,405人 44,502人 43,346人		

#### 【項目3】

モニタリング項目 :計算式等		※H27年 達成状況	
目標値(H30年)・ 目標値の設定理由			
実績値	H20 H21 H22 H23 H24 H25 H26 H27 H28 H29 H30		

### ■施策目標を達成するための主な取組と実績

No.	取組名【所管課名】・ 概要	実績値					
		名称	H23	H24	H25	H26	H27
1	市指定重要有形文化財などの指定【文化振興課】 所有者等の申請後、現地等での調査を経て、必要の都度指定する。	指定件数	29件	29件	29件	29件	29件
2	埋蔵文化財の調査【文化振興課】 市事業主の協力を得て、開発工事の着手前に緊急発掘調査を実施する。	市が実施した埋蔵文化財緊急発掘調査件数	19件	19件	19件	21件	22件
3	文化財愛護講座、つるまい土曜講座の開催【文化振興課】 市民に身近な文化財を知ってもらい、郷土意識を高めるための講座を開催する。	開催回数 (総参加人数)	17回 (194人)	12回 (251人)	11回 (155人)	12回 (141人)	12回 (120人)
4	つる舞の里歴史資料館企画展の開催【文化振興課】 市域に限らず、多様な文化財を紹介する企画展を開催する。	実施回数 (総来場者数)	1回 (1,924人)	1回 (1,543人)	1回 (786人)	1回 (1,368人)	1回 (1,012人)
5	郷土民家園文化事業の開催【スポーツ・よか・みどり財団】 地域の生活文化を知ることのできる年中行事、教室、展示などの企画事業を行う。	開催回数	32回	27回	29回	27回	33回
6	下鶴間ふるさと館文化事業の開催【文化振興課】 地域の生活文化を知ることのできる年中行事、教室、展示などの企画事業を行う。	開催回数	17回	13回	16回	15回	15回
7	出張授業等の実施【文化振興課】 地域の文化遺産を知り、学ぶことのできる出張授業や出前講座を実施する。	実施回数	7回	6回	5回	7回	5回
8	ショートムービーコンテストの開催【イベント観光協会】 大和市の魅力を引き出すストーリーのある映像作品を募集し、優れた作品を表彰する。	応募作品数	16点	15点	10点	20点	19点
9	フィルムコミッション事業の実施【イベント観光協会】 大和市の歴史的、文化的景観を市内外に広くPRするため、映画、TVドラマ等のロケーション撮影に伴う支援や誘致を行う。	作品誘致件数	52件	60件	62件	75件	62件
10							

### ■主な課題と対応状況

課題	対応状況	進捗割合
文化財3施設(つる舞の里歴史資料館、郷土民家園、下鶴間ふるさと館)の存在意義や魅力を伝えていくために、幅広い層の興味をかきたてる企画展の開催や、より多くの市民が施設を訪れたいと思えるような仕掛けを検討していく必要があります。(H26)	来館者の増加に向け、3施設の合同企画展を実施するとともに、地域との連携により各種展示、催しなどを実施しました。また、平成28年11月に開館する文化創造拠点内に、市域で出土した考古資料を展示するコーナーを設け、市民が文化財に触れることができる場を創出します。	A

#### ※進捗割合

A:既に対応を行っている B:具体的な検討に着手している C:検討内容が具体的になっていない

# 大和市文化芸術振興基本計画[第2期] 平成27年度実績報告

## 施策目標3 すべての子どもが文化芸術に親しめる環境をつくる

具体的方策	<b>3-1 文化芸術の本物の輝きに触れる機会の充実</b> 子どもや親子を対象とした芸術公演や体験ワークショップ、文化芸術との初めての出会いを提供する「ブックスタート」、美術作品の見方を深めていく美術鑑賞プログラムなど、質の高い文化芸術に触れ、創造する楽しさやコミュニケーションの楽しさが実感できる機会を充実します。
	<b>3-2 子どもたちの才能の芽を育てる取り組みの推進</b> 芸術家の創作過程に触れ、共同で作品を制作していく機会を設けるなど、子どもたちの優れた才能の芽を育て、次代の文化芸術の担い手につなげるための取り組みを進めます。
	<b>3-3 創造活動の成果を発表する機会の創出</b> 子どもを対象としたコンクールや発表会、展示会などの開催及び支援を行い、子どもたちが文化芸術活動を通して、自己表現を行うことのできる機会をつくります。
	<b>3-4 子どもの文化芸術活動をサポートする体制の整備</b> 子どもたちの文化芸術に対する興味、関心をより効果的に引き出すために、さまざまなジャンルにおいて子どもの文化芸術活動をサポートする体制の整備を進めます。

### ■基本計画で定めているモニタリング項目と目標及び実績

#### 【項目1】

モニタリング項目 :計算式等	市立小学校の文化芸術鑑賞・体験1校あたりの実施回数 :文化芸術鑑賞・体験授業の年間実施回数合計/全市立小学校数	※H27年 達成状況	137.0%								
目標値(H30年)・ 目標値の設定理由	2.7回 対話による美術鑑賞授業を全校実施した場合の件数を見込み、目標値を設定しました。										
実績値	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
	-	-	-	-	2.1回	2.4回	2.6回	3.2回			

#### 【項目2】

モニタリング項目 :計算式等	市立中学校の文化芸術鑑賞・体験1校あたりの実施回数 :文化芸術鑑賞・体験授業の年間実施回数合計/全市立中学校数	※H27年 達成状況	84.5%								
目標値(H30年)・ 目標値の設定理由	1.2回 中学校は小学校と比べ、芸術教育授業を実施できる時間数が少ないことから、H24の数値を維持していくことを目標値として設定しました。										
実績値	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
	-	-	-	-	1.2回	1.1回	1.2回	1.1回			

#### 【項目3】

モニタリング項目 :計算式等	対話による美術鑑賞ガイドスタッフの登録者数 :対話による美術鑑賞ガイドスタッフの登録者数の累計	※H27年 達成状況	84.0%								
目標値(H30年)・ 目標値の設定理由	50人 全ての市立小学校にガイドスタッフを必要な時に、必要な人数を派遣できるよう、H30年における目標値を50人としました。										
実績値	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
	-	-	-	-	13人	22人	33人	43人			

### ■施策目標を達成するための主な取組と実績

No.	取組名【所管課名】・ 概要	実績値					
		名称	H23	H24	H25	H26	H27
1	<b>対話による美術鑑賞授業の実施【市立小学校・指導室】</b> 行政、学校、市民(ボランティア)、専門家と連携、協力しながら、市立小学校で対話による美術鑑賞授業を実施する。	実施校数	-	3校	10校	19校	19校
2	<b>美術鑑賞学習の実施【市立小中学校・指導室】</b> 小中学校に芸術家を派遣し、音楽、演劇などの美術鑑賞、体験学習を行う。	実施校数	-	28校	28校	28校	28校
3	<b>学校寄席の実施【スポーツ・よか・みどり財団】</b> 市立小学校の授業の一環として、日本の伝統芸能である落語を生で聴いて、実際に体験してもらい催しを行う。	実施校数	2校	2校	2校	2校	2校
4	<b>やまと子ども伝統文化塾の開催支援【文化振興課】</b> 市内在住、在学の子どものうちを対象とした日本の伝統文化体験教室の開催を支援する。	開催教室数	7教室	6教室	7教室	7教室	8教室
5	<b>YAMATOダンスフェスティバルの開催【文化振興課】</b> ストリートダンスの活動をしているグループを募集し、コンテストを開催する。	応募団体数 (総来場者数)	22団体 (558人)	29団体 (543人)	30団体 (568人)	28団体 (568人)	35団体 (539人)
6	<b>やまと伝統文化フェスティバルの開催支援【文化振興課】</b> 市無形民俗文化財保存会や市内の伝統文化団体、やまと子ども伝統文化塾を受講した子どもたちによる合同発表会の開催を支援する。	総来場者数	750人	800人	510人	525人	680人
7	<b>中学校文化連盟芸術祭に対する事業補助【指導室】</b> 県公立中学校文化連盟大和市部芸術祭に対し、補助金を交付する。	参加生徒数	1,852人	1,917人	1,915人	1,968人	2,351人
8	<b>やまとげんきっこアートフェスティバルの開催【ほいく課】</b> 市内の各保育所の園児が制作した絵画や工作の展示会を開催する。	参加園数 (総来場者数)	-	21園 (992人)	24園 (1,173人)	26園 (1,344人)	34園 (871人)
9	<b>児童館作品展の開催【こども・青少年課】</b> 児童館を利用している子どもたちが作った工作や工芸作品などの展示会を開催する。	参加館数 (総来場者数)	22館 (664人)	22館 (658人)	22館 (906人)	22館 (1,784人)	22館 (649人)
10	<b>子どもの文化芸術活動をサポートする組織の運営支援【文化振興課】</b> 子どもの文化芸術活動をサポートする組織の運営支援を行う。	サポート組織の支援件数	1件	2件	2件	2件	2件

### ■主な課題と対応状況

課題	対応状況	進捗度合
文化芸術の創造を担う人づくりを推進するため、子どもたちとプロのアーティストとの共同制作事業の実施など、鑑賞とは違った側面から質の高い文化芸術に触れることのできる機会を充実していく必要があります。(H26)	平成29年度以降、芸術文化ホール事業として実施できるよう、指定管理者に働きかけを行っていきます。	C
対話による美術鑑賞の「美術館訪問授業型」については、ガイドスタッフの人数を常時確保することができないこと、美術館との調整に長い時間を要することなどの理由により、7校の実施にとどまっていることから、今後は、これらの問題に対応し、実施校を増やすための方策を検討していく必要があります。(H26)	各小学校のニーズを把握したうえで、教育委員会と連携して近隣美術館のさらなる協力への呼びかけを行うとともに、芸術作品を直に鑑賞できる仕掛けについて検討していきます。	B

#### ※進捗度合

A:既に対応を行っている B:具体的な検討に着手している C:検討内容が具体的になっていない

# 大和市文化芸術振興基本計画[第2期] 平成27年度実績報告

## 施策目標4 文化芸術の振興を牽引する担い手を育てる

具体的方策	<b>4-1 若者の創造活動への支援</b> 豊かな才能を持った若者の創造活動の一層の促進を図るため、イラストレーションの分野に加え、音楽、演劇などの舞台芸術においても、創造性を最大限発揮し、ステップアップを図ることのできる機会を提供していきます。
	<b>4-2 伝統文化継承者の育成</b> 無形民俗文化財の保存団体等が行う継承活動を支援するとともに、映像などによる記録保存を進めます。また、子どもたちが、大和の民俗芸能、茶道・華道・日本舞踊などの伝統文化を修得できる機会をつくり、継承者の育成につなげます。
	<b>4-3 文化芸術活動を支える人材の育成</b> 若者、子育て世代、シニア世代など、さまざまな世代が文化芸術振興の主体者として関わっていけるよう、文化コーディネーターやボランティア等を育成し、その活動を支援していきます。また、学生インターンシップを積極的に受け入れ、文化芸術に携わる人材を育成します。
	<b>4-4 文化芸術連合会の活動の強化</b> 市内の文化芸術団体や民間の文化施設等で構成する「大和市文化芸術連合会」を大和の文化芸術を牽引する中心的な団体とするため、体制の強化を含め、活動内容の充実に向けた取り組みを支援します。
	<b>4-5 アーティスト登録制度の整備</b> 市内芸術家の活動、活躍の場の拡充を図るため、市内での公演、講座等の開催に積極的な人材を紹介するアーティスト登録制度の整備を図ります。

### ■基本計画で定めているモニタリング項目と目標及び実績

#### 【項目1】

モニタリング項目 :計算式等	イラストレーションデザインコンペの年間応募者数 :イラストレーションデザインコンペに応募した人数の合計	※H27年 達成状況	32.7%								
目標値(H30年)・ 目標値の設定理由	600人 入賞者の作品を屋外空間で活用するなど、コンペの知名度を高める取り組みを進め、H25年の数値から毎年50人ずつ増加させることを目標としました。										
実績値	H20 -	H21 -	H22 -	H23 224人	H24 295人	H25 334人	H26 463人	H27 196人	H28	H29	H30

#### 【項目2】

モニタリング項目 :計算式等	イラストレーションデザインコンペ入賞者への制作依頼件数 :イラストレーションデザインコンペ入賞者にイラスト制作を依頼した年間件数	※H27年 達成状況	56.7%								
目標値(H30年)・ 目標値の設定理由	30件 H25年の数値から毎年、3件ずつ増やしていくことを目指し、目標値を設定しました。										
実績値	H20 -	H21 -	H22 -	H23 -	H24 7件	H25 13件	H26 23件	H27 17件	H28	H29	H30

#### 【項目3】

モニタリング項目 :計算式等	やまと子ども伝統文化塾受講者数 :やまと子ども伝統文化塾の受講者数の累計	※H27年 達成状況	68.3%								
目標値(H30年)・ 目標値の設定理由	1,000人 H23年からH25年までの3年間の平均受講者数を踏まえ、H30年までに日本の伝統文化を修得した子どもを1,000人とすることを目標としました。										
実績値	H20 -	H21 -	H22 -	H23 125人	H24 265人	H25 418人	H26 520人	H27 683人	H28	H29	H30

### ■施策目標を達成するための主な取組と実績

No.	取組名【所管課名】・ 概要	実績値					
		名称	H23	H24	H25	H26	H27
1	<b>YAMATOイラストレーションデザインコンペの開催【文化振興課】</b> 全国の若者を対象に、イラストレーション作品のコンペを開催する。入賞者は翌年度の市のイベントのポスターなどのイラストレーターとして起用する。	応募作品数 (入選作品展来場者数)	358点 (650人)	402点 (806人)	443点 (811人)	615点 (1,557人)	269点 (1,321人)
2	<b>無形民俗文化財保存会への補助金の交付【文化振興課】</b> 市指定の無形民俗文化財を保存、継承するための補助金を交付する。	交付件数	2件	2件	2件	2件	2件
3	<b>やまと子ども伝統文化塾の開催支援【文化振興課】※再掲</b> 市内在住、在学の子どもたちを対象とした日本の伝統文化体験教室の開催を支援する。	開催教室数	7教室	6教室	7教室	7教室	8教室
4	<b>対話による美術鑑賞ガイドスタッフ養成研修の開催【文化振興課】</b> 市民ボランティアをガイドスタッフとして育成するための研修を開催する。	研修の開催回数 (うちフォローアップ研修の開催回数)	-	16回 (0回)	17回 (3回)	19回 (7回)	22回 (9回)
5	<b>博物館実習生の受け入れ、実習の実施【文化振興課】</b> 博物館学講座を開講している大学の要請に基づき、博物館実習生を受け入れ、つる舞の里歴史資料館などで実習を行う。	実習生数	6人	7人	6人	2人	3人
6	<b>大和市文化芸術連合会交流会の開催【文化振興課】</b> 市内で活動する団体情報の発信や団体同士の連携、情報交換を深めるための交流会を実施する。	交流会の開催回数	1回	1回	1回	1回	0回
7	<b>大和市文化芸術連合会アドバイザー会議の開催【文化振興課】</b> 今後の文芸連について意見交換や検討を行うため、登録団体の代表者で構成する会議を開催する。	会議の開催回数	-	-	-	3回	2回
8							
9							

### ■主な課題と対応状況

課題	対応状況	進捗割合
市民自らが文化芸術活動を支援するアートサポーターへの参加を促すとともに、アートサポーターの育成と、サポーターとイベントなどの事業とを結び付ける仕組みづくりに取り組んでいく必要があります。(H26)	スポーツ・よか・みどり財団の委託事業として、市民サポーターの発掘、育成に向けた取り組みを進めていく予定です。	B
アドバイザー会議での意見を踏まえ、今後の大和市文化芸術連合会の運営のあり方及び、その支援内容について検討していく必要があります。(H27)		

#### ※進捗割合

A:既に対応を行っている B:具体的な検討に着手している C:検討内容が具体的になっていない

# 大和市文化芸術振興基本計画[第2期] 平成27年度実績報告

## 施策目標5 大和の文化芸術の魅力を内外にアピールする

具体的方策	<b>5-1 新たな文化芸術拠点の整備推進</b> 大和の文化芸術を創造、発信する場、市民の文化芸術活動の拠点となる芸術文化ホールの整備を着実に進めるとともに、施設を効果的、効率的に活用するための管理運営の手法、体制を構築します。
	<b>5-2 文化芸術に関する情報発信力の強化</b> 文化芸術に関する情報を集約し、その魅力が伝わるよう適切に編集するとともに、SNS(ソーシャル・ネットワーク・サービス)やスマートフォン等の携帯情報端末など、新しい情報通信技術の活用も視野に入れながら、幅広い年齢層、多様な言語に対応した情報の発信に取り組みます。
	<b>5-3 大和の文化芸術の魅力を発見できる機会の充実</b> 大和の文化芸術を広く発信し、文化芸術の力で人とまちを元気にすることを目的とした「YAMATO ART100」を継続して実施するとともに、市内に点在する文化施設や文化財、芸術家のアトリエなどを巡るイベントを開催するなど、大和の文化芸術の魅力を発見できる機会を充実します。
	<b>5-4 多くの人を惹きつける文化芸術イベントの開催</b> 大和の文化芸術の魅力となっている「神奈川大和阿波おどり」や「中央林間手づくりマルシェ」、「渋谷よさこい」などの文化イベント開催を支援します。また、芸術文化ホールを中心とした大規模文化芸術イベントを実施します。
	<b>5-5 文化芸術の振興に寄与した人の顕彰</b> 市内を中心に優れた創造、創作活動を行っている芸術家や、大和の文化芸術の発展に貢献された人を顕彰し、これら文化芸術の担い手とその活動を大和の文化芸術の魅力として市内外へ発信します。
	<b>5-6 未来の大和文化を創出する取り組みの推進</b> 漫画やアニメーションを含むメディア芸術を日本の誇るべき文化芸術と捉え、その一層の振興を図るとともに、これらの持つ魅力を活かし、新たな大和の歴史につなげる取り組みを推進します。

### ■基本計画で定めているモニタリング項目と目標及び実績

#### 【項目1】

モニタリング項目 :計算式等	芸術文化ホール年間利用者数 :芸術文化ホール(メインホール・サブホール・ギャラリー・マルチスペース)利用者数	※H27年 達成状況	—								
目標値(H30年)・ 目標値の設定理由	230,000人 近隣市における類似施設の実績を参考に、芸術文化ホールの開館初年度を180,000人とし、H30年は、大和市民すべてが芸術文化ホールを利用している状態にすることを目標としました。										
実績値	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
	-	-	-	-	-	-	-	-	測定予定		

#### 【項目2】

モニタリング項目 :計算式等	芸術文化ホールホームページのアクセス件数 :芸術文化ホールのホームページにアクセスした件数の累計	※H27年 達成状況	—								
目標値(H30年)・ 目標値の設定理由	620,000件 芸術文化ホールの年間利用者数の目標(H28年:180,000人、H29年:210,000人、H30年:230,000人)にあわせ、その合計を目標値としました。										
実績値	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
	-	-	-	-	-	-	-	-	測定予定		

#### 【項目3】

モニタリング項目 :計算式等	YAMATO ART100来場者数 :YAMATO ART100として採用した文化芸術イベントの総来場者数	※H27年 達成状況	96.0%								
目標値(H30年)・ 目標値の設定理由	115,000人 大和市民の2人に1人が文化芸術に触れている状態にすることを目標としました。										
実績値	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
	-	-	-	110,041人	105,484人	65,092人	122,004人	110,392人			

### ■施策目標を達成するための主な取組と実績

No.	取組名【所管課名】・ 概要	実績値					
		名称	H23	H24	H25	H26	H27
1	<b>芸術文化ホールの整備</b> 【文化創造拠点開設準備室・文化振興課】 大和の文化芸術の拠点となる芸術文化ホールを整備する。	主な取り組み内容	公益施設基本計画の策定	基本設計完了	実施設計完了	建設工事開始	建設工事
2	<b>芸術文化ホールの管理運営手法等の検討</b> 【文化創造拠点開設準備室・文化振興課】 施設を効果的、効率的に活用するための管理運営の手法、体制を検討する。	主な取り組み内容	公益施設基本計画の策定	管理運営基本計画の策定	詳細な管理運営手法の検討	条例、規則の制定 指定管理者の公募、決定	指定管理者との調整、協議 施設予約窓口の開始
3	<b>文化芸術イベント情報の発信</b> 【文化振興課・生涯学習センター】 インターネットを活用し、市内文化芸術団体が主催するイベントの情報を発信する。文化芸術イベント等を掲載した生涯学習がいどぶっくを発行する。	生涯学習支援ガイド 発行部数	3,500部	2,800部	2,500部	1,300部	800部
4	<b>YAMATO ART100の実施</b> 【文化振興課】 秋の100日間に、文化芸術団体、財団、イベント観光協会、大和市などが、市内のさまざまな場所で、連続的に文化芸術イベントを展開するプロジェクトを実施する。	参加団体数 (参加イベント件数)	44団体 (55件)	50団体 (66件)	45団体 (71件)	50団体 (82件)	60団体 (92件)
5	<b>YAMATO アートバスツアーの開催</b> 【文化振興課】 あまり知られていない市内の文化施設や普段個人では訪れることが難しいスポットなどを織り交ぜ、文化芸術と観光を融合させたバスツアーを開催する。	バスツアー応募人数 (定員人数)	—	—	—	39人 (25人)	108人 (25人)
6	<b>観光文化イベントの開催支援</b> 【イベント観光課】 市民、商店会・実行委員会等が行う観光文化イベントの開催支援を行う。	開催支援件数	3件	4件	5件	5件	5件
7	<b>文化芸術振興条例に基づく顕彰制度の実施</b> 【文化振興課】 市内を中心に優れた創造活動を行っているアーティストや、大和の文化芸術の発展に貢献された人を対象に表彰を行う。	受賞者人数 (文化芸術賞・文化芸術振興賞・文化芸術未来賞)	3人	5人	3人	6人	3人
8	<b>文化芸術顕彰者紹介イベントの開催</b> 【文化振興課】 文化芸術三賞の受賞者を市内外に紹介するための公演、展示会を開催する。	開催回数	1回	1回	1回	1回	1回
9	<b>大和タウン マンガ探訪記の開催</b> 【文化振興課】 大和の自然や歴史、文化などの地域資源を背景に描いた漫画作品の展示や市内在住の漫画家が指導する体験ワークショップを開催する。	総来場者数	—	—	—	810人	895人

### ■主な課題と対応状況

課題	対応状況	進捗度合
市外の人々の大和市の文化的イメージを高めることで、それが市民の文化芸術に対する意識の向上にもつながると考えられることから、今後は、神奈川県のカルチャーサイトを活用するなど、市外の人々にも目を向けた情報発信手法について検討していく必要があります。(H26)	YAMATO ART100のパフレットについて、イベントの魅力が分かりやすく伝わるように紙面の充実を図ります。また、芸術文化ホール事業は、県の文化情報ホームページや新聞、タウン誌、ラジオなどを活用し、市外の人々へのPRに努めていきます。	B

#### ※進捗度合

A:既に対応を行っている B:具体的な検討に着手している C:検討内容が具体的になっていない

# 大和市文化芸術振興基本計画[第2期] 平成27年度実績報告

## 施策目標6 多文化共生社会の実現を目指し、様々な文化に親しめる環境をつくる

具体的方策	6-1 海外都市との文化芸術交流の推進 市民相互の国際理解と都市間の友好をさらに深めるために、大韓民国京畿道光明市をはじめとする海外都市との音楽や伝統芸能などの文化芸術交流を推進します。
	6-2 日本人市民、外国人市民との交流機会の充実 日本人市民、外国人市民がともにつくる文化芸術イベントの開催や外国人市民の一般公募展への参加を促進するなど、文化芸術に係る国際交流の充実を図ります。
	6-3 世界の文化芸術に触れる機会の創出 日本人市民と外国人市民との相互理解を促す契機とするため、「やまと国際交流フェスティバル」などを通して、外国の文化や芸術に触れる機会をつくります。また、日本の伝統的な文化や芸術を外国人市民に紹介する活動を推進します。

### ■基本計画で定めているモニタリング項目と目標及び実績

#### 【項目1】

モニタリング項目 :計算式等	国際交流が行われていると思う市民の割合 :総合計画に関する市民意識調査で測定	※H27年 達成状況	—
目標値(H30年)・ 目標値の設定理由	30.0% 第1期計画期間中における目標値の達成状況を踏まえつつ、今後、外国人支援ネットワークが進むと考え、H30年における目標値を30%としました。		
実績値	H20 H21 H22 H23 H24 H25 H26 H27 H28 H29 H30		
	18.7% — — 19.5% — 19.8% — — 測定予定 — —		

#### 【項目2】

モニタリング項目 :計算式等	世界料理の屋台村の認知状況 :文化・芸術に関する市民アンケート調査で測定	※H27年 達成状況	—
目標値(H30年)・ 目標値の設定理由	40.0% 国際化協会と協力して本イベントの魅力をPRし、H30年までに40%の市民に認知されている状態にすることを目標としました。		
実績値	H20 H21 H22 H23 H24 H25 H26 H27 H28 H29 H30		
	— — — — — 32.0% — — 測定予定 — 測定予定		

#### 【項目3】

モニタリング項目 :計算式等		※H27年 達成状況	
目標値(H30年)・ 目標値の設定理由			
実績値	H20 H21 H22 H23 H24 H25 H26 H27 H28 H29 H30		

### ■施策目標を達成するための主な取組と実績

No.	取組名【所管課名】・ 概要	実績値					
		名称	H23	H24	H25	H26	H27
1	海外友好都市との文化芸術交流の実施【国際・男女共同参画課】 大韓民国京畿道光明市との文化芸術による相互交流を行う。	文化芸術交流イベント実施件数	1件	1件	1件	0件	0件
2	文化芸術国際交流活動への支援【国際・男女共同参画課、国際化協会】 文化芸術を活用した市民の国際交流事業に対し、補助金、助成金を交付する。	交付件数	1件	1件	1件	0件	0件
3	文化芸術団体間の交流促進【文化振興課、国際・男女共同参画課】 文化芸術団体間との交流を促進するため、外国人市民の文化芸術団体にイベント実行委員会への参画を働きかける。	日本人市民と外国人市民で構成される実行委員会の件数	1件	1件	2件	2件	2件
4	外国人市民の文化芸術活動の参加促進【文化振興課、国際化協会】 文化芸術イベントへの参加を促進するため、外国人市民向けの情報誌に開催情報などを掲載する。	外国人市民向けの情報誌への掲載件数	0件	0件	0件	1件	1件
5	やまと世界料理の屋台村の開催【国際・男女共同参画課】 食を通じて、市民に外国文化への興味を持ってもらうため、やまと世界料理の屋台村を開催する。	総来場者数	5000人	3500人	6000人	7000人	6,000人
6	やまと国際交流フェスティバルの開催【国際化協会】 文化芸術を通して、多文化共生を楽しみながら体感できる交流イベントを開催する。	総来場者数	3000人	5000人	6000人	未開催	6,000人
7							
8							
9							
10							

### ■主な課題と対応状況

課題	対応状況	進捗度合
文化芸術を通じた交流は、相互理解を促進し、多文化共生社会を実現するために大きな役割を果たすことから、芸術文化ホールの開館を機に、文化芸術交流を定期的に実施していくための環境整備に取り組んでいく必要があります。(H26)	平成28年11月に芸術文化ホールにて大韓民国光明市立芸術文化団体の公演を実施します。以降は、継続して実施する予定です。	A
外国人市民は、日常生活の中で日本の伝統文化に触れる機会が少ないことから、市内で行われる伝統文化公演の開催情報を発信するなど、日本への理解と関心を高めてもらえるような取り組みを充実していく必要があります。(H26)	国際化協会広報誌にやまと子ども伝統文化塾ややまと伝統文化フェスティバルの開催情報を掲載できるよう、調整を行います。	B

#### ※進捗度合

A:既に対応を行っている B:具体的な検討に着手している C:検討内容が具体的になっていない